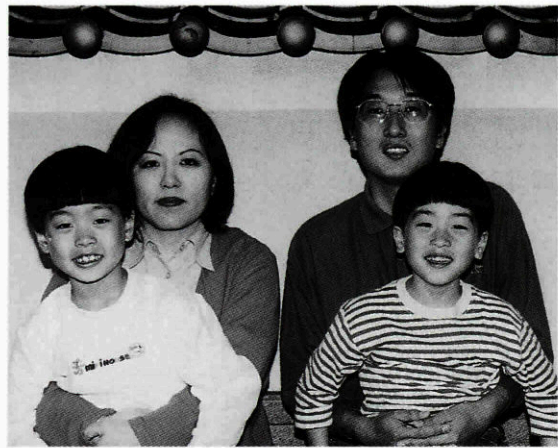


ながとじん 長門人

童謡詩集 「風のおしゃべり」発刊 —ちよつと小耳に—

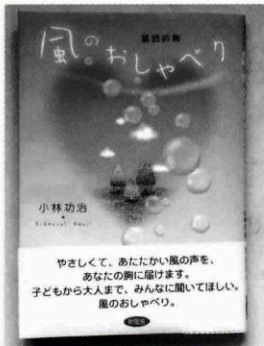


小林功治さん御一家

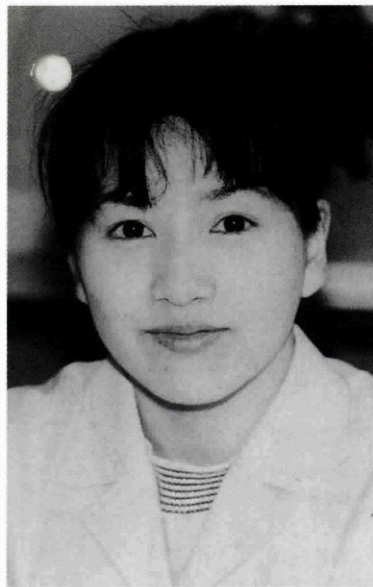
こばやしこうじ／昭和39年生／湯町区
写真は左から長男志鳳くん（7歳）、妻香織さん、
功治さん、次男宏暢くん（5歳）

童話作家を目指して創作活動
を続ける俵山湯町区の小林功治さ
んの童謡詩集「風のおしゃべり」
が、東京の出版社「新風舎」から
4月10日発刊された。
小林さんにとって初めての詩
集となる「風のおしゃべり」には、
平成10年4月1日号広報から「童
謡の花束」として連載したお馴染
みの作品に一部手を加えた21編を
含め、小林さんのオリジナル童謡
詩32編を掲載している。
さし絵は、奥さんの香織さん、
長男志鳳（ゆきほ）くん、次男宏暢
（ひろのぶ）くんの手によるもの
で、家族全員で仕上げた一冊とな
っている。
今後について「この本を出し
てから自分の中で童謡詩の比重が

この本について詳しく知りたい方は
小林さんまで
☎29・0402



高くなってきました。童話とも
両立し、童謡詩も本気でやって
いきたいと思つてます。いつに
なるかわかりませんが、エッセ
イや小説にも挑戦したい」と熱
く語る小林さん。
発売以来好評で、増刷が決定
したとのことで、「二人でも多く
の人に自分の詩を読んでもらい
たいですね」と話している。



長尾佳奈さん

ながおかな／昭和53年生／後ヶ迫区
深川小学校勤務

「和」を大切に ―熱血・新鮮力―

※仕事は 本年4月から深川小
学校2年3組35名の子どもた
ちの担任をしています。子ど
もは毎日変化し、違った新し
い面が見つかります。
※長門は 小野田市の生まれで
すが、大好きな海とみずゞさ
んのお陰で、青海島や仙崎に
は何度も来ていました。最初
の赴任地が長門で本当に良か
ったと思つています。
※趣味は 写真を始めようと思
い、最近一眼レフを購入しま
した。せっかくなのできれいな海の
近くに来れたので余裕ができ
たらスキューバダイビングに
も挑戦してみたいですね。
※好きな言葉は 「和」です。
穏やかで和やかな人になれる
よう心がけています。子ども

に接する仕事なので、やさし
く丸く子どもを包んでいけた
らいいなと思います。
※結婚は いつかはしたいと思
つていますが、今は毎日の仕
事が精一杯です。
※自由に一言 どんときも逃
げ出さず、子どもとはきちん
と向きあい、よく話を聴きた
いと思います。頑張りますの
でよろしく願います。

